

# 鹿本高校SSH通信 Vol.33



## 令和6年度SSH生徒研究発表会 (神戸市)

8月7・8日に神戸国際展示場でSSH生徒研究発表会が開催され、今年度は3年生4名が、「ブラジルチドメグサの利活用」をテーマに発表しました。2年生生理系の生徒2名も見学者として参加しました。



ブラジルチドメグサは、菊池川流域に大繁殖している特定外来植物です。昨年度の先輩の研究を引き継ぎ、ブラジルチドメグサをお茶として飲用したり、水質浄化に利用したりできないかを探るため、抗酸化作用や重金属を吸収する性質を詳しく調べました。

※詳細は、ぜひ鹿本高校ホームページをご覧ください。

### 発表会に参加して

帰校後、校長先生に報告。参加した3年生は、「どの高校も研究のレベルが高く、自分と違う分野の研究でも聞いてみたら面白いものがあり、質問や話ができて良かった」「発表の時、自分はとても緊張したが、他校は堂々としていた。面白い発表が沢山あって、参加して良かった」と感想を話しました。



#### 【後輩達へのメッセージ】

「外部連携は早めに行動を。もっと早く連携できたら更に研究を深めることができた」

「鹿本高校は、講演会など外部の話を聴く機会がたくさんある。自分はあまり質疑応答ができなかったが、機会を利用して質問する力をつけておいた方が良い」

#### 【校長先生より】

限られた時間で、よく研究をまとめ上げた。このような場面で、先輩から後輩に「もっとこうすればよかった」が伝わると、研究のレベルが上がる。先輩から後輩にメッセージを伝えてもらえるのはありがたい。地域の学校の強みは先輩後輩、同級生の繋がりの強さ。それを生かして、今回学んだことを広めて欲しい。



参加した3年生と2年生が校長室を訪問